

「住まう喜びを感じるまち 南魚沼市」を考える

多世代の市民全員が輝き 健康で快適に暮らせ 若者の期待に応えられるまち

【問合せ・申込み】 U&Iときめき課 ☎773-6659

南魚沼市で輝くひと (第13回) 林拓哉さん たくや

今回は、平成19年にUターンし、現在は映像制作会社machikadoの代表を務めている津久野地区在住の林拓哉さんにお話を伺いました。



Q. Uターンしたきっかけは何ですか。

A. 子どもができたことです。自分が育った環境なら子どもに教えてあげられることもたくさんあると思い、地元に戻ってきました。この地域は、付き合いが濃いからこそ大変な部分もありますが、将来的に人として、より成長できるのではないかと思います。

Q. 思うような子育てはできましたか。

A. 自宅で仕事をしながらの8年間の子育てで、価値観が大転換しました。きちんと子どもに向き合いたかったので、仕事と育児の両

立はとても大変でしたが、とても充実した時間を共有することができ満足だと感じています。親が子どもに与える事より、子どもが親に与えてくれる事が大きいということを発見できました。平凡な日常こそが幸せなのだと、毎日子どもたちに感謝しています。

Q. Uターンする際に、仕事の面で不安はありませんでしたか。

A. 正直、南魚沼市でこの仕事を続けられるとは思いませんでした。しかし、前の職場の縁で仕事をいただいたり、友人の結婚式をきっかけに結婚式場で多くの映像を撮らせていただいたり、自分の技術で喜んでくれるお客様がいて、しかもお金ももらえてどんどん輪が広がっていく仕事の面白さを感じています。

Q. 今後の夢はなんですか。

A. 子どもの結婚式を見届けることと、孫と暮らしたいですね。

Q. 大切にしている考え方はありますか。

A. なかなか難しいですが、人を責めず人を認めることを心がけています。

Q. 南魚沼で暮らそうと考えている人に一言。

A. 仕事以外はすべて都会に勝っていると思います。仕事でも勝れるように、一緒に南魚沼を盛り上げましょう！



住み続けられるまちをめざして「若者まちづくり会議」



若者の意見を市政に反映させ、新たなネットワークを築くために始まった「若者まちづくり会議」が、今年度で6年目となりました。

40歳以下の市内在住の若者が集まり、今自分たちができることという視点のもと、「働く世代の仲間づくりの場をつくるには」「続けていこう！兼業農家」「若者が集まる場所で南魚沼産をPR」という3つのテーマごとにグループを作り、日程や具体的な活動内容を話し合いました。今後は、各グループで案を実行することを目標に活動していきます。

ふるさと納税の返礼率見直しのために11月1日(木)にポータルサイトからの申込受付を停止していましたが、11月16日(金)から申込受付を再開しました。